

アーバンスポーツ施設整備の方向性について

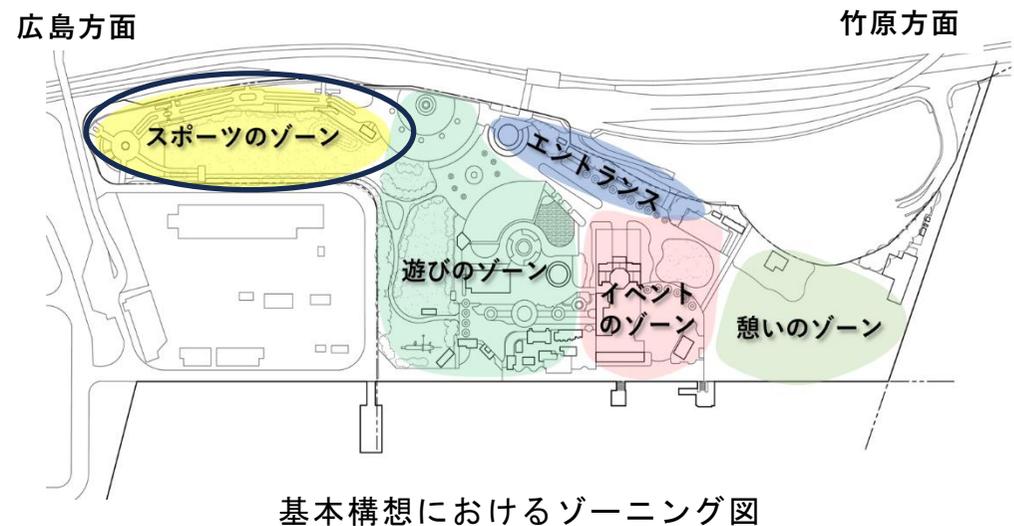
1 これまでの経緯

広島県では、令和6年3月に策定された第3期広島県スポーツ推進計画において、アーバンスポーツの今後の方向性として「アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、引き続きアーバンスポーツの聖地化に向けた取組を進めます。」と定め、大会誘致や人材育成、競技の普及促進に向けた取組を進めることとされています。

呉市では、第5次呉市長期総合計画において「若者に人気のあるアーバンスポーツの環境整備にも取り組む」としており、新たなスポーツ分野の振興とともに、遊び（カルチャー）の要素を併せ持つアーバンスポーツを通じて、子どもや若者のコミュニティ形成の場の創出を目指しています。

令和4年度に実施した「アーバンスポーツ施設整備ニーズ・候補地調査」では、交通の利便性、管理運営、周辺環境などの観点のほか、若者が集まる素地があることや十分な面積の確保ができることから、呉ポートピアパーク及び天応公園（以下「呉ポートピアパーク」といいます。）がアーバンスポーツ施設を整備するための候補地として最適であると結論付けました。

このことを受けて、令和6年6月に策定した「呉ポートピアパーク及び天応公園の再整備に係る基本構想」においては、アーバンスポーツ施設を「スポーツのゾーン」に配置する方針としました。この方針を踏まえ、呉ポートピアパーク内にアーバンスポーツ施設の整備を進めていくに当たり、施設整備の方向性等について報告します。



2 呉市の現状（アンケート結果）

呉市においては、スケートボードやBMX競技の専用施設がないため、公道や公園が練習場所となっており、施設の破損や歩行者との接触の危険が生じているほか、騒音や若者がたむろするなど、住環境への影響による苦情も発生しているのが現状です。

その一方で、令和4年度に実施したニーズ調査におけるアンケートでは、回答数341件（無作為抽出した呉市内4,000世帯へ送付したQRコードからの回答）の内、80パーセント以上がアーバンスポーツ施設の整備に肯定的であるとともに、アーバンスポーツを通じた呉市の活性化が期待されていることも顕在化しました。

具体的なアンケート結果は、次のとおりです。

○ニーズ調査におけるアンケート結果（抜粋）

（単位：件）

アンケート内容	第1順位	第2順位	第3順位
① 呉市内にアーバンスポーツ施設があれば良いか	あれば良い 162（48%）	どちらかと言えばあれば良い 111（33%）	無くて良い 32（9%）
② どの種目の施設があったら良いか	スケートボード 172（50%）	ボルダリング 152（45%）	BMX 119（35%）
③ 整備場所の条件	車でアクセスしやすい場所 231（68%）	駅に近い場所（市街地） 117（34%）	駅に近い場所（郊外） 92（27%）
④ 整備する場合の施設規模	市内外の利用者が十分に使用できる規模（中規模） 160（47%）	国内や世界大会が誘致できる規模（大規模） 109（32%）	市内の利用者のみが使用する規模（小規模） 70（21%）
⑤ 整備に対して期待すること	アーバンスポーツを通じた呉市の活性化 235（69%）	青少年の活躍の場、コミュニティ形成 180（53%）	専用施設利用により公園等利用者の安全確保 121（35%）
⑥ 整備で懸念されること	マナーやルールの啓発 226（66%）	騒音や迷惑行為等の周辺住民への影響 166（49%）	青少年の安全確保や衛生管理 138（40%）

※アンケートの回答方法は、用意した選択肢の中から、当てはまるものを選択してもらう形式です。

※②～⑥は複数回答であるため、合計が100パーセントを超えています。

3 ワークショップでの意見

本年7月20日に呉ポートピアパークにおいて、アーバンスポーツの施設整備に向けた体験会とワークショップを実施し、スケートボード・BMX・ブレイキン種目の競技者等が望む施設について提案していただきました。

今後、できるだけこのワークショップでの意見を反映させながら、アーバンスポーツ施設の設計及び整備を進めていきたいと考えています。

ワークショップにおいて、競技者等から頂いた主な意見及び施設整備のイメージは、次のとおりです。

(1) スケートボード

- ・ 初心者が楽しめるよう多くの平場を確保し、大規模なセクション（ジャンプ台やレール等）は不要
- ・ 滑走面やセクションはコンクリート製で、摩擦の少ない滑らかな仕上げが理想的（鋼製の設置型セクションは、高温や変形による危険を伴うため、好ましくない。）
- ・ 既存の階段などの工作物や植栽を活用し、撤去が最小限となるような設計の工夫が必要
- ・ 「スポーツのゾーン」の最西端（広島市側）を起点としたL字型の競技スペースを整備することで、スキルごとに利用者のゾーニングができ、利用者の混在による危険の回避が可能
- ・ 夜間の利用に対応した照明設備の整備を希望

(2) BMX（フラットランド）

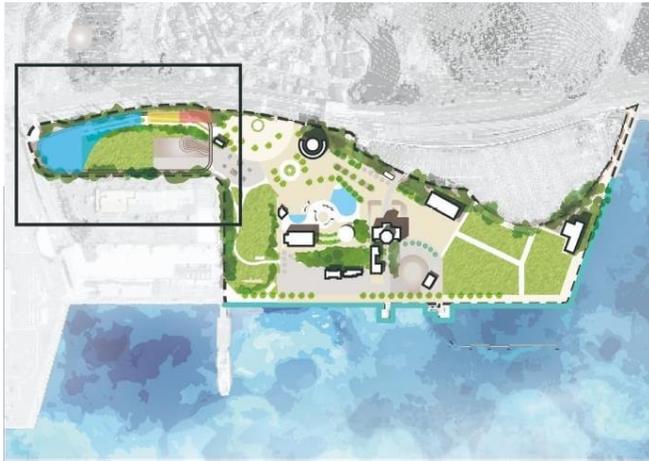
- ・ 完全に水平な（排水のための勾配もない）床面が理想的
- ・ 10メートル四方の競技スペースがあれば、他競技との施設の共用も可能
- ・ 屋根の設置が標準的な仕様であり、呉ポートピアパーク内の既存のイベントガレージのような施設が魅力的

(3) ブレイキン

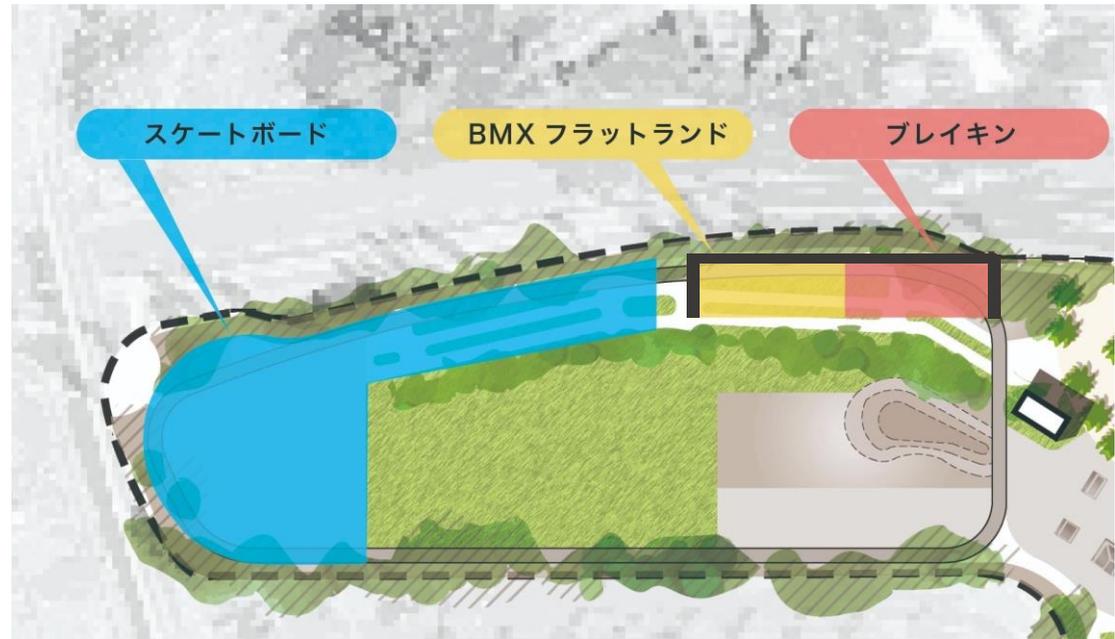
- ・ 屋根、鏡及び音響設備が必須であり、できれば冷暖房設備があれば理想的（基本的には屋内競技である。）
- ・ 呉ポートピアパーク内の既存のイベントガレージの活用又は新たな施設（イベントガレージ）の設置により、全天候型で他競技も含めた有効活用が可能
- ・ 使用料を支払っても、設備が整った施設の利用を希望

(4) ワークショップにおける施設の配置イメージ

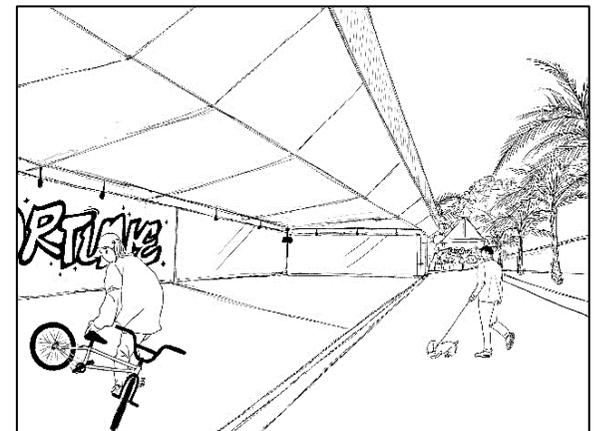
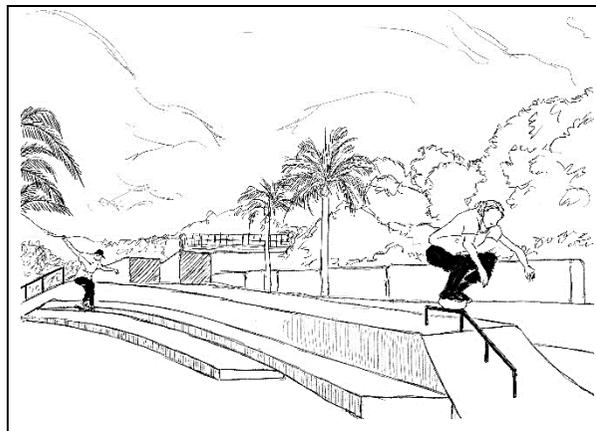
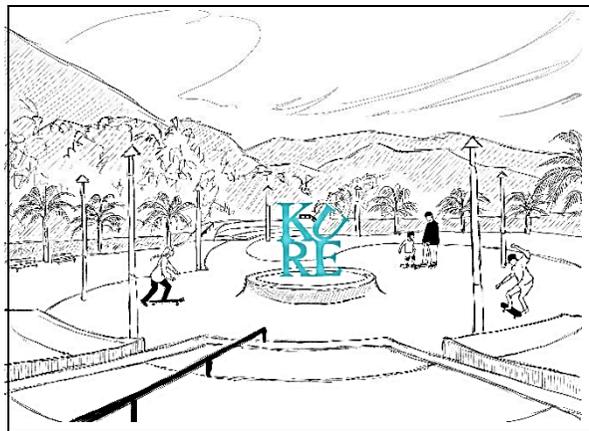
【位置図】



【配置図】



【イメージ図】



4 施設整備の方向性

アーバンスポーツ施設の整備は、呉市の新たなスポーツの振興と運動機会の創出を図るとともに、呉ポートピアパークの再整備の方針にマッチするよう呉の若者や子どもが集い、交流し、体験することができる場となることを目的に、アーバンスポーツを通じた呉市の活性化と若者や子どものコミュニティ形成の場の創出を目指します。

このため、多くの方々に幅広く利用していただけるよう、アーバンスポーツ初心者から中級レベルの利用者を主なターゲットとし、更にスポーツを観る機会を創出できるよう、様々な競技会やイベントの開催が可能な施設にしたいと考えています。

また、呉ポートピアパークならではの景観を生かすことや、アートの要素も取り入れることなどを検討することにより、他市町の施設との差別化を図っていきます。

現段階で想定している整備概要は、次のとおりです。

- (1) 検討エリア 「スポーツのゾーン」のうち、多目的広場と自転車のトライアル広場を除いた範囲（約5,500平方メートル）の中で、必要な施設整備を検討します。
- (2) 対象種目 スケートボード、BMX及び3X3バスケットボール
※ブレイキンなどのダンス競技に対応できる平場を施設内に確保
※アンケート結果で整備種目の第2順位であったボルダリングは、呉市内に民間施設があるため整備対象から除外
- (3) 施設規模 広島県レベルの大会やイベントに対応できる施設
- (4) 附帯施設 照明、音響設備、フェンス、日陰棚、観戦用ベンチ等

5 今度の進め方

今後も引き続き、競技関係者のほか、ストリートカルチャーに関わる方々ともコミュニケーションを継続しながら事業を進めていきます。

また、ワークショップでの施設の整備イメージを反映するため、早期に実施設計に着手したいと考えており、令和6年9月定例会に測量・調査設計に係る補正予算案を提出する予定です。

実施設計完了後、令和7年度に整備工事に着手し、早期の供用開始を目指します。